



いずみ



「真剣」の大切さ

校長 牧 勇人

先日、富山市中学校総合選手権大会に出場する選手の壮行会があり、私は次のように激励しました。(当日はこれよりも簡潔に話しました。)

「真剣」は日本刀を示し、刀を抜いた(刀の柄に右手を添え、左親指で鐔を押し出した)瞬間から『命のやりとり』が始まることから、本気で事に当たることという意味を含むようになりました。言葉では「真剣に」と自分を鼓舞したり、仲間を応援したりする際に簡単に使いがちですが、本来の意味から考えると命懸けのことになるので、そこまで本気になって(つまり真剣になって)試合に臨んだり事に当たったりしたことは無いかもしれません。むしろ社会的には、本気になれない・本気にならない人が増えているようです。負けたり合格しなかったりしても、真剣でなければ失うものはないからだと推察できます。しかし、残念ながら得られるものは何もありません。多くの大人の中にも、ノーリスク・ノーリターン感覚が漂っていると言っても過言ではありません。

今年の体育大会を振り返ると、大中学生はみんな本気でした。また、本気で取り組む仲間を本気で応援し、結果を問わず賞賛していました。みんなの本気の姿が互いを感動させ、見ている私たちの胸をも熱くさせました。真剣に取り組むことは、自分自身が高まることはもちろんですが、まわりにいる者までも高めていく原動力になると私は確信しています。

だから、今度の大会ではぜひ「真剣勝負」しよう。真剣であればあるほど、負けたときには予想もしなかった大きな絶望感に「一瞬」襲われる。これは間違いない。しかし、すぐに爽やかな風を感じ、気持ち良くなるはず。この感覚を感じ取ることが、とても大事なのです。大中学生が各会場で本気を出し、真剣勝負をしてくることを期待します。

6/17(金)～富山市内の各会場で行われた大会での大中学生の様子は、学校のホームページに掲載してあります。各顧問からは、選手が真剣勝負しているとの嬉しい報告が間なしに送られてきました。大中学生の、打てば響く「素直さ」と「真剣さ」に、改めて感動しました。また、そのように臨むよう応援して下さった保護者の皆様に、感謝いたします。

学校生活の様子をホームページで公開しています。ぜひご覧ください。
「富山市立大泉中学校」で検索するか、見出し横のQRコードを読み取ってください。

5/20(金)・24(火)交通安全教室

交通ルールやマナーを確認し、安全な登下校ができるようにするために「交通安全教室」を行いました。1年生では、富山南警察署の交通安全課長の方をお招きし、特に自転車事故の危険性や、それを回避するための心構え等について指導していただきました。どの学年の生徒も、真剣に話を聴き、交通安全啓発ビデオをくいいるように視聴して互いに考えを述べ合っていました。



生徒の感想を紹介します。

- 普段から曲がり角や信号がある所で左右後ろを確認することはしていたけれど、一本道にある小さな曲がり角では一時停止がおろそかになっていたかなと思いました。また、今回、ヘルメットは、事故にあったとき、自分の生死を決めるのだと知ることができました。
- 今まで友達と自転車の並進をしたり、角など気にせずに走ったりしていたけれど、それが自分の身や他の人の身の危険になっていたと考えるとすごく怖くなりました。今日から帰るときはちゃんと意識しながら帰りたと思います。
- 周りをしっかり確認することに気を付ければよいと思いました。毎日のように自転車に乗っていると、つい気が抜けてしまったり、周りを確認せずに走ってしまったりするので、いつ事故が起こるか分からないということを頭に入れ、気をひきしめていきたいです。
- 「止まれ」の場所では、絶対に止まることを、当たり前ですがこころがけようと、改めて思いました。自転車に乗るときは、加害者にも被害者にもなりえることを意識して走行しようと思います。
- 自分は、自転車が車と同じ扱いになっているのは知っていたけれど、実際は交通量等により、難しいときもあると思いました。「ながら運転」はもちろんしていないし、「歩行者優先」、特に、お年寄りと子供に対しては注意深くして走行しています。「自転車安全利用五則」のうち4つはできているけれど、ヘルメット着用はできていなかったなので、ぜひ着用していこうと思いました。

自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側通行（右側通行禁止）
- ③ 歩道を走行するときは歩行者優先、車道寄りを徐行
- ④ 交通安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転、二人乗り、並進、「ながら運転」の禁止
 - ・ 夜間ライト点灯
 - ・ 交差点での信号遵守、一時停止・安全確認
- ⑤ 子供はヘルメットを着用（大人であっても、着用を推奨）



5/28(土)第70回体育大会

さわやかな天候に恵まれ、体育大会を開催することができました。

「一戦入魂 ～全力で燃え上がれ！大中魂！！～」のスローガンを掲げ、体育大会実行委員会を中心に、団リーダーやデコレーションリーダーが準備を進めてきました。

全学年の生徒による短距離走や綱引き、1年生「台風の目」、2年生「大中トライアスロンリレー」、3年生「タイヤ引き」といった学年種目、各団の代表者による選抜リレーなど、いたるところに全力で取り組む姿が見られました。

また、団演技では、2分間という短い時間でしたが、各団が工夫を凝らし、見ごたえの演技をつくり上げました。

当日は、多数のご来賓、保護者、地域の皆様に、大中学生の「顔晴る（がんばる）」姿を見届けていただき、そして応援してくださり、本当にありがとうございました。



全校生徒でのエール交換



どの種目も真剣勝負！



青龍団



白虎団



朱雀団



6/17(金)～19(日)富山市中学校総合選手権大会

本校には、ソフトテニス部、卓球部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部の5つの運動部活動があります。3年生にとって、全国大会につながる最後の大きな大会となります。これまでの練習の成果を思う存分発揮し、「真剣勝負」に挑みました。うまくいったプレーに喜んだり、思い通りにいかず悔しい思いをしたり・・・生徒一人一人が様々な経験から感じ、考える大きな機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保護者の皆様には会場での応援に制限がありました。多大なるご支援をいただきました。本当にありがとうございました。



環境委員会主催「黒板アート」が、選手への応援に華を添えました。

<7・8月の予定>

- | | |
|--|--|
| 7月 1日(金)～14日(木) 大中 夏のミニ人権週間 | |
| 2日(土) 社会を明るくする運動 中学生生活体験発表大会 県大会
市民体育大会(バスケットボール、バドミントン、卓球) | |
| 4日(月)～8日(金)
社会に学ぶ「14歳の挑戦」 | |
| 8日(金) 3年・確認テスト① | 7月23日(土)～8月28日(日)
夏季休業 |
| 13日(水) 大中の日 | 8月 6日(土) 第2回資源回収
※学校及び各地区で
回収する予定です。 |
| 15日(金)、19(火)、20(水)
保護者懇談会 | 8月29日(月) 2学期始業式 |
| 18日(月) 海の日(祝日) | |
| 21日(木) 給食最終日・専門委員会 | |
| 22日(金) 1学期終業式 | |